国際交流、きっかけは一人の友人から

木村律子*

現代はあちらこちらで「国際化」「国際理解」と叫ばれています。実際世界は狭くなっていることはまわりを見渡せば明らかです。東京の上野公園にたむろする何百人というイラン人、東南アジアからの若い女性達。新潟には南米からの出稼ぎ者も増え始め、また過疎の町では嫁不足で国際結婚する男性もたくさんいます。そんな身近な国際理解をするためには一体どうしたらいいの?

彼らは何を考えているの?

ある大阪の娘が海外の国々で体験したおもしろおかしいエピソードをもとに、いろんな人々のことをちょっとおしゃべりします。

SIX WAYS TO MAKE PEOPLE LIKE YOU

(カーネギーの6原則)

Rule 1: Become genuinely interested in other people.

Rule 2: Smile.

Rule 3: Remember that a man's name is to him the sweetest and most important sound in any language.

Rule 4: Be a good listener.

Encourage others to talk about themselves.

Rule 5: Talk in terms of the other man's interest.

Rule 6: Make the other person feel important, and do it sincerely.



^{*} 新津国際交流協会